

基本三部作 2. 鍍絵の見どころ

- (1) 鍍絵の鍍の技の冴え
- (2) 鍍絵の美しい色
- (3) 背景の思想

(1) 鰻絵の鰻の技の冴え

鰻の技の冴え

特に十二支に見られる、形状の決定と描写力は、鰻とは思えぬ凄さ。

細かな表現

生き生きとした動きの表現

細かな表現

南面の二階の酉



東面の軒下の龍
(龍は東の守護神)



南面の二階の酉
(拡大)



ニワトリの羽の描写力

堂々とした姿

背景の植物の色彩との調和

全体のバランスにも優れ、
仏画のような厳かさを感じる。

東面の軒下の龍（龍は東の守護神）



龍のまわりの透かし彫り的な表現と、宙に舞うヒゲ。

東面の守護神にふさわしい最高の作品だと思います。

生き生きとした動きの表現

多くの動物は、生き生きと表現されている。

特に、北面二階の四匹、四頭は
冴えている。



皆さん、特に「子」については、遠く、小さいので、その技の冴えを見落としています。じっくり見ていただきたい。デジカメに撮って、後で拡大して確認してください。口、目、耳の頭部、そして四肢の生き生きとした動きは、最高の出来だと思います。



酉と、甲乙つけがたい。

口、目、耳の表現も、巧み。

この動きは、北面二階の四枚、
全てに当てはまる。
鍔絵蔵のなかのトップレベルの出来。



また、これらの動物は全て単色な
のです。
鰻だけで、この生き生きした姿を
表現しきっています。

(2) 鏝絵の美しい色



一番は、鳳凰の青だと思います。

青は、輝いています。

九十年間、風雨に晒されていたと
は信じがたい輝きです。



鍍絵の青は、ラピスラズリ、プルシアンブルーを使い分けていると思います。さらに最近、ラズライトも使われていると云われています。



左上から時計回りに、Prussian blue, Indigo, Azurite, Ultramarine (lapis lazuli)

青の輝き(蛍光)の秘密

基本：プルシャンブルー +

蛍光：ラビスラズリの成分、ノゼアン

Table Lapis lazuli is a composite of the following several ores.

Ore Component	Chemical formula	Fluorescence property
Lazurite	$(\text{Na,Ca})_8(\text{AlSiO}_4)_6(\text{SO}_4,\text{S,Cl})_2$ Also known as Ultramarine	Main component of lapis lazuli, about 30-40%. No fluorescence.
Nosean, Noselite	$\text{Na}_8\text{Al}_6\text{Si}_6\text{O}_{24}(\text{SO}_4)\text{H}_2\text{O}$	Fluorescence in the visible light region
Sodalite	$\text{Na}_4\text{Al}_3(\text{SiO}_4)_3\text{Cl}_6$	Fluorescence in the Ultra-violet light region
Hauyne	$(\text{Na,Ca})_{4-8}\text{Al}_6\text{Si}_6(\text{O,S})_{24}(\text{SO}_4,\text{Cl})_{1-2}$	No fluorescence in powder state

ノゼアン
～可視光での
蛍光性

Expected pigments used in Kote-E

~Referred the book 「Murals in the Silk Road, (japanese)」, Gensousya(2007)

	Pigment/ Dye	Chemical formula	Takamatsuzuka
White	white chalk	CaCO ₃	○
	white clay	Al ₂ Si ₂ O ₅ (OH) ₄	○
	talc	Mg ₃ Si ₄ O ₁₀ (OH) ₂	
	gypsum	CaSO ₄ ·2H ₂ O	
	mica	KAl ₂ AlO ₆ (OH) ₂	
Green	verdigris	CuCO ₃ ·Cu(OH) ₂ Cu ₂ (OH) ₃ Cl	○
Red	cinnabar	HgS cinnabar, vermilion	○
	iron-oxide red pigment	Fe ₂ O ₃ Bengala	○
	riaruga	As ₂ S ₃	
Blue	azurite	2CuCO ₃ ·Cu(OH) ₂	○
	ultramarine	(Na, Ca) ₈ (AlSiO ₄) ₆ (SO ₄ S ₃ Cl) ₂	
Black	Sumi	C	
	iron oxide black	Fe ₃ O ₄	
Artificial pigment	vermilion	HgS	
	white lead	2PbCO ₃ ·Pb(OH) ₂	○
	minium	PbO ₄	

(3) 背景の思想

十二支
四神、四方の守護神
四霊

日本の縁起の良いシンボル

十二支
子、丑、虎、卯、辰、巳、
午、羊、申、酉、戌、亥

四神

青龍、白虎、朱雀、玄武

四靈

應龍、麒麟、鳳凰、靈龜

仁太郎さんは、これらについて、何も言葉を残していません。でも、何かがあるはず・・・。

国家、そして地域の安寧

子孫繁栄

商売繁盛

『単色の持つ力』

鍔の技は、北面二階が勝っていると思います。
東面の四神・四霊も、少ない単色で表現しきって
おり、しかも「霊力」は、こちらが上に感じられます。

個人的には、土蔵の入口・受付の多色の四枚
も含め、この東面の単色鍔絵に感動しています。
この単色で表現しきったことが、「単色の持つ
鍔絵の力」となり、これこそが鍔絵の力であり、
白壁との対比の美を含め、機那サフラン酒が
「鍔絵の横綱」と云われる由縁のひとつでは、
ないでしょうか。